

令和2年度 事業活動計画

I. 事業活動の基本方針

2025年度には、団塊の世代と言われる大量の人達が75才を迎える、超高齢化社会が本格化致します。このことにより、医療費や社会福祉費の増大を招き、現役世代の大幅な負担増につながることから、現役世代から色々な負担軽減を求められることが予想されます。

現在の高齢者が「現役世代であったとき、当時の高齢者を支えてきたのだから、支えてもらって当たり前」という常識が通用しなくなることを示しています。

その中にあって、我々長寿会仲間2,200余名は、健康、友愛、奉仕、交流の四つの活動理念を掲げて高齢者支援のベストパートナーとして積極的に活動してまいります。また、行政機関や自治会など関係団体共密接に連携を図りながら、高齢者の中核的活動組織として積極的に代弁、提言を行うなどして高齢者福祉の向上に努めてまいります。

そこで私たちが、今年度重点的に取り組んでまいります施策は「高齢者相互支援事業の拡販」とそれを実践する「人財育成」であります。

昨年4月1日にスタートした「高齢者相互支援事業部」はこの1年で高齢者向け「ふれあい食堂」(愛称・おしゃべり食堂)1号店を椿台長寿会と共同で開設し、見事1人立ちさせることに成功致しました。そしてこの4月以降、運営ノウハウを解放し、町全体に支店を拡げて行きたいと考えております。

また、4月1日に「友愛活動部」と組織統合を図り、有能な人材を多数確保することが出来ました。

「高齢者相互支援事業部」が今後実践してまいりたいと考えている事業は、次の5つ分野です。長寿会々員が住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、日常生活の困りごとを支援するグループを編成して支え合う体制であります。

① 見守り活動チーム … 従来の「友愛活動部」の分野

声掛け、安否確認、友愛訪問等

② 集いづくりチーム

引きこもり、孤食等の防止のための カフェ、サロン、食事会等

③ 家事支援チーム

ゴミだし、清掃、片付け、剪定、犬の散歩等

④ 外出支援チーム

買い物、病院、公用外出、墓参り等

⑤ 緊急時(災害発生時)避難支援チーム

地区的自治会、自主防災組織と連携し、事前に、要避難者を特定しておく
まだまだ、越えなければならない高いハードルが幾つもありますが、頑張って
挑戦してまいりたいと思って居ります。

皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

II. 基本目標と活動計画

(1) 仲間づくり活動の推進

2,200余名会員相互間はもちろんのこと、地域の知人を新しく仲間として
迎えるため引き続き本部役員・地区会長が牽引努力する。

（2）健康づくり活動の推進

「健康寿命」奈良県1位を目指している平群町にあって、高齢期を末永く自立して元気に過ごすために介護予防・健康づくりを、奈良県が推奨している「お出かけ健康法」を中心に積極的に推進してまいります。その成果を検証するためにも「健康診断」・「歯科検診」を定期的に受診するよう啓発するとともに、関連の各種研修会、体力測定会、並びに歴史探訪を兼ねた健康ウォークを継続して実施致します。また、かしのき荘の「健康相談室」の運営も会員看護師の協力を得て、高齢者への健康指導を継続します。

（3）友愛活動の推進

介護保険法の一部改定にも対応する高齢者の社会的孤立や認知症会員への見守りや声掛けなどの友愛活動を、地域の自治会、民生委員などの関係者との連携を図りながら推し進めます。

また、かしのき荘に「お困りごと相談室」を継続して開設し、高齢者への支援ニーズを適格に把握致します。

（4）積極的な奉仕活動

地域において「豊かなまちづくり」の一翼を担うために、地域内の清掃活動、児童の登下校時の見守り活動などの奉仕活動を積極的に推し進めます。

また、本年度も「かしのき荘」の内外に亘る一斉清掃活動を多くの会員仲間の協力で実施します。

（5）世代間交流活動の推進

伝承交流活動部の昔あそび、手品（マジック）などの活動を通じて、町内のかども園児、小学生などとの世代間交流を継続して実施します。

（6）会員交流活動の推進

地区の月例会、39愛好クラブの活動、専門部による研修会等を通じて会員相互の積極的な交流活動を行い、会員相互の連帯感の高揚に努めます。

（7）広報活動の充実

毎月全会員に配布する会報誌「ふれあい新聞」は連合会の事業活動を適宜広報するとともに、会員相互のコミュニティ向上に資するよう紙面の充実に、そして個別に配布する時には独居高齢者への声掛け運動にも努めます。

また、連合会独自の「ホームページ」にも随時活動状況を紹介して会員のみならず非会員への広報活動に努めます。

（8）高齢者にやさしい町づくりへの参画

町が推し進める高齢者にやさしい町づくりと高齢者福祉向上への活動のために委員会等に役員を派遣するなどして積極的に参画していきます。

今年は平群町包括支援センターと協力して「生きいき100才体操」を地区長寿会の中に浸透させるとともに、平群町生活支援体制整備事業協議体とも協力し町民の生活支援体制の充実と利用促進を図ってまいります。

III. 専門部およびクラブ統括部活動方針

1. 女性部

- (1) 女性部員の社会的見聞を広めるために、社会見学、施設見学を実施する。
- (2) 町内介護施設への慰問活動を継続する。
- (3) 教養講座などの研修会を実施する。
- (4) 健康部と連携して「介護予防」・「健康づくり」研修会を実施する。
- (5) 地域の認知症会員、独居会員、老々家庭の会員仲間等への安否確認等の友愛活動を行う。

2. 健康部

- (1) 町健康保険課の支援で定期的な「健康診断」・「歯科検診」の受診啓発を継続して行う。
- (2) 平群町は「健康寿命」を奈良県1位、奈良県は全国1位を目指すための延伸対策の一環として、外出すること、歩くことを重点にした「おでかけ健康法」の普及と王寺健康ステーションの活用を推進する。
- (3) 「体力測定会」・「健康ウォーク」を継続して実施する。
- (4) 会員看護師の協力で「かしのき荘」内での「健康相談室」運営を継続し、高齢者の健康指導に努める。
- (5) 女性部との交流のため「介護予防」・「健康づくり」研修会を実施する。

3. 伝承交流活動部

- (1) 昔話、昔遊び、手品(マジック)などでこども園・小学校等の社会勉強に供する活動を継続する。
- (2) 上記の活動を通じて世代間交流の促進に努める。
- (3) 福祉施設等への慰問活動を継続する。
- (4) 地区の月例会、小地域ネットワーク活動等の出演要請に応えていく。

4. ふれあい情報部

- (1) 会報誌「ふれあい」新聞の毎月発行し、連合会活動の広報に努める。
- (2) 紙面を通じ、会員相互のコミュニティの場としての充実に努める。
- (3) ホームページを再開したので、内外への事業活動のPRに努める。
- (4) 行政および関係団体等に会報誌を届けて長寿会活動への理解に努める。

5. 高齢者相互支援事業部

- (1) 毎月第3土曜日午前中「お困りごと相談室」を開設する。
- (2) 高齢者の安否確認活動を行なう。
- (3) 高齢者相互支援事業の実践計画を協議する。
- (4) 「おしゃべり食堂」の町全体への展開を支援する。

6. クラブ統括部

- (1) 各クラブの活発な運営のための支援・啓発に努める。
- (2) 自己実現高揚策の一環として舞台発表会、作品発表会を継続して実施する。
- (3) クラブ活動の活性化のために会長杯(カップ)争奪戦を有効的に実施する。
- (4) クラブ活動を通じて長寿会会員の交流促進と新規会員の加入・増員を図る。